



編集・発行 山見妙勢能
日蓮宗 報部
〒563-0132
大阪府豊能郡野間中
電話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

バジル

新實信導

昨年の夏のことである。種から植えたバジルがたくさんの芽を出し、葉も大きくなってきた。もうそろそろ収穫時期かなと思いい、庭のバジルを見にいつてみると、無惨な状態になっていた。新芽には蜘蛛の巣のようになり、葉が萎み着き、葉はバッタにより穴だらけであつた。急いで殺虫剤を噴霧し除虫しても全く効果はなし、日々穴だらけの葉を見守るしかしかなかつた。それでも、バジルは少ない葉でも秋には開花し種子を付けることができた。

インドや熱帯アジア原産のハーブである。英語ではバジル (basil)、イタリア語ではバジリコ (basilico) としても知られ、イタリア料理には欠かせない食材である。私が蒔いたバジルの種はインド産であつた。今考えればインドの気候にあつた種が日本でうまく成長する訳がないのである。

ところが今年の夏、庭の隅にけなげに芽をだしたバジルを目撃した。今では一本のバジルとして大きく成長しており、多少小さな穴が開いているが、芋虫やバッタにやられることなく凜として立っている。

作物は種子を通して自身の育つてきた環境に適応するための情報を子孫に伝えるといわれている。しかし現在の農業は農薬や化学肥料の使用を前提に育成された品種を使用するのが主流となつている。よつて、本来単独で成長し、たくさんの植物や昆虫などの生き物に囲まれて成長する術を阻害しているように思う。

日蓮大聖人は、「食物に三つの効用がある。一には生命力を養い、二には色艶（いろつや）を増し、三には体力をつける。そして他人に物を施せば、それが自分の利徳として返つてくる」（『食物三徳御書』）教示されている。私たちは食物を戴いて生命をながらえている。その感謝すべき食物がどのようにして成長してきたのか、本来の植物のあり方を知ることが大切だ。

この夏、キュウリとトマトの種子をとつた。来年の成長を願つて…。

《法華經に学ぶ現代》

如来は

能く種々に

分別し

巧に

諸法を説く

『方便品第二』

〜純智庵〜

「分別」と書いて

読み方二つあり

「つは「ぶんべつ」

「二つは「ぶんべつ」

前者は道理を分きました

人の生き方考え方

後者は種類を分けること

だけどゴミ出し「ぶんべつ」は

暮らしに大事な

「ぶんべつ」だ

それが分からぬようならば

私の教えは身につかぬ

【9月の主な行事】

- ☆八朔祭祈禱 5日(日)9〜16時
- ご祈禱お申込みの方には開運「八朔田の実守」授与
- ※餅撒き・奉納演奏等のイベントは中止します
- ★写経会 12日(日)11時
- ★月例祈願法要 15日(水)13時
- ☆秋季彼岸会 22日(水)13時
- ★鷗様月例祭 22日(水)15時
- ◎ご祈禱・ご回向等のお申し込みは、郵便・FAX・メールでも受付けております

【10月の行事予定】

- ★写経会 10日(日)11時
- ★月例祈願法要 15日(金)13時
- 妙見さまのご縁日祈願会 開運殿にて執り行います
- ★鷗様月例祭 22日(金)15時
- 火伏せ守り札を授与します

※9月・10月の清掃の日・星嶺演奏会・茶論は中止

- いずれの行事も社会情勢により変更する場合があります
- 出会いの鐘巡りは「ひらがなあつめ」に代えて実施中
- 登山カード押印は休止
- 昇堂時はマスク・人数制限等
- 感染防止にご協力下さい
- 送迎車は運行していません
- ◆ケーブル&リフト毎日運行中

心の対話で安らぎを

桑木 信弘

皆さんコロナ禍であつても、供養はしていますか？私に住職を務めるお寺の先代住職が遷化して早くも一年が過ぎました。梅雨が明け夏が本番になる七月の中旬過ぎから、八月お盆が終わるまで境内や墓地の掃除を先代と二人で汗だくでしていたものです。今は一人境内や墓地の草を一本抜くたび、先代との何気ない会話や、後ろ姿を思い出し、気がつけば生きている頃と同じように、心で対話をして過ごしている自分がある。かと思えば、ふと我に還つたように先代の居ない境内を見回して、「今頃、どんな想いで私たちを観ているのだろう」と死と一年という時の流れを実感します。

日本のある医師の話によると、近親の死が与える

残された人のホルモンバランスや免疫力は亡くなった直後からある一定の周期で回復しバランスを取り戻すそう、百日、丸一年、二年、五年、七年と大まかに変化するらしく、それはちょうど追善供養をする百箇日、一周忌、三回忌、七回忌にあたるそうです。

昔から生活の知恵として亡き人の供養を通し、哀しみや後悔、寂しさやストレスを癒し気持ちを整理して亡き人と共に心身を養ってきたのでしよう。

コロナ禍となり密を避け、人や家族の繋がりが希薄になりがちで、ご先祖の追善供養まで省略、中止という話をよく耳にします。私達の心を宿す肉体は、先祖から受け継がれてきたもの。ルーツとなる先祖は樹木に例えるならば大地におろす根です。

法華経の葉草喩品には、雨が降り大中小それぞれの

ご祈禱・ご回向志納料 改定のお知らせ

既報の通り諸費用高騰など諸般の事情を鑑みて9月1日からご祈禱・ご回向等のご志納料を改定致します。ご理解のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

※詳細につきましては 寺務所へお問い合わせ下さい

☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

祈禱料

- ・ 普通祈禱 紙札 五千円
- ・ 特別祈禱 木札 一万円から

読み上げ祈禱

- ・ 一ヶ月 一千円

回向料

- ・ 普通回向 五千円
- ・ 特別回向 一万円から

読み上げ回向

- ・ 一ヶ月 一千円

ご祈禱・ご回向の 開始時刻について

次の通りとなっております

ご祈禱 9時半・10時半・11時
12時・13時・14時・15時

ご回向 11時半・13時半

※開始時刻の30分前までに、受付窓口へお越し下さい

※ご参拝の際はなるべく事前のご連絡をお願いします

※郵便・FAX・メールでも受け付けております

※志納料が改定されています

法華経茶話Ⅱ

十二支縁起③

「六処」(眼耳鼻舌身意)が外部情報に触れて認識が生まれることを「触」と呼びます。そして感受された対象は、心地の良いものと悪いもの、そのどちらでもないものの三種類に分類されます。この作用が「受」です。例えば異性を見て可愛いと感じたり、ゴミを見て汚いと感じたりすることです。また「受」は以前お話した生命体を構成する「五蘊」のうちの「受」と同様の概念です。

そして「受」から煩惱が生まれます。この煩惱のことを仏教では「愛」と呼びます。私達が日常で使用している愛とは意味が異なりますので注意してください。煩惱には様々な解釈がありますが、その中でもとりわけ強力なものが貪欲(貪り) 瞋恚(怒り) 無痴(愚かさ)の三種類で、「三毒」と呼ばれています。